

# 2018年 冬（12月～2月）の天候経過

平成30年3月1日

新潟地方气象台

## 1. 北陸地方の今冬（12月～2月）の特徴

【3年ぶりの寒冬。冬型の気圧配置となることが多く、低温・多雪。】

今冬は西高東低の冬型の気圧配置が強まり、強い寒気に覆われることが多く気温が低い状態が続き、大雪となった時期がありました。特に1月中旬から2月上旬にかけては強い寒気が断続的に入り、山沿いに加えて平地でも大雪となりました。

気温は、12月、1月、2月ともに低かった。3か月平均でも低かった。

降水量は、12月はかなり多く、1月は多く、2月は平年並だった。3か月合計ではかなり多かった。

日照時間は、12月、1月ともに少なく、2月は多かった。3か月合計では平年並だった。

降雪量は、12月は平年並、1月、2月はともに多かった。3か月合計では多かった。

## 2. 3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間・降雪量の平年差(比)と階級

北陸地方平均	12月	1月	2月	12～2月
平均気温平年差 階級	-1.4℃ 低い	-0.8℃ 低い	-1.2℃ 低い	-1.1℃ 低い
降水量平年比 階級	136% かなり多い	122% 多い	109% 平年並	124% かなり多い
日照時間平年比 階級	81% 少ない	87% 少ない	122% 多い	99% 平年並
降雪量平年比 階級	96% 平年並	131% 多い	140% 多い	127% 多い

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

## 3. 月別の天候経過

(12月)【冬型の気圧配置が多く、低温、多雨、寡照】

上旬は、日本海から千島近海を低気圧が数回通過し、その後は冬型の気圧配置が強まって、強い寒気が流れ込み、曇りや雪または雨の日が多かった。中旬は、冬型の気圧配置の日が多く、曇りや雨または雪の日が多かった。下旬は、前半は冬型の気圧配置が弱まり、本州付近は高気圧に覆われ晴れた所があったが、後半は冬型の気圧配置が強まり、強い寒気が流れ込み曇りや雨または雪の日が多かった。このため、月の気温は低く、降水量はかなり多く、日照時間は少なくなった。

(1月)【冬型の気圧配置が多く、低温、多雨、多雪、寡照】

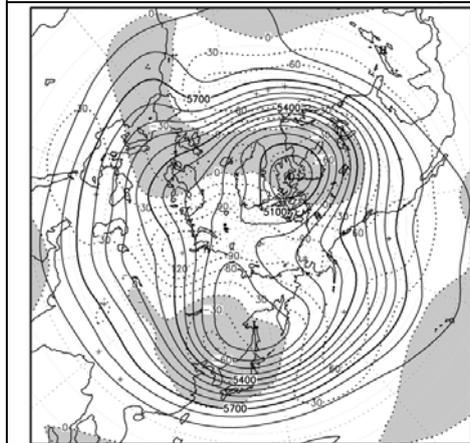
上旬は日本付近を低気圧が頻繁に通過し、曇りや雪または雨の日が多かった。中旬は、前半は強い寒気が流れ込み、大雪となった。新潟で12日の積雪が80cmとなり、2010年2月以来8年ぶりに積雪が80cmに達した。後半は移動性高気圧に覆われ、晴れた日が多かった。下旬は、冬型の気圧配置の日が多く非常に強い寒気が流れ込み、雪の日が多くなった。このため、月の気温は低く、降水量や降雪量は多く、日照時間は少なくなった。

(2月)【冬型の気圧配置が多く、低温、多雪 また、この時期としては晴れの日が多く、多照】

上旬は日本の南を低気圧が東進した後は冬型の気圧配置が強まり、強い寒気に覆われた。このため福井で日最深積雪が7日に147cmに達して1981年以来37年ぶりに140cmを超えるなど記録的な大雪となった。中旬は、はじめは冬型の気圧配置が強く、大雪となった所があった。14日は日本海を東進した低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込み、春一番が吹いた。その後は、気圧の谷や寒気の影響を受けることが多かった。下旬は、低気圧と高気圧が交互に通過して数日の周期で天気に変化し、この時期としては晴れの日が多くなった。このため、気温は低く降雪量や日照時間は多くなった。

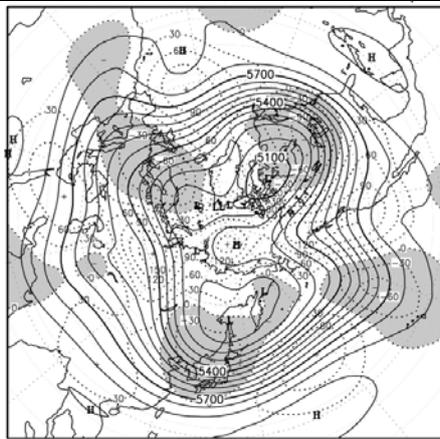
#### 4. 大気の流れから見た今冬の特徴（500hPa 高度合成図）

等高度線（実線）の間隔は60m、ハッチ域（陰影部）は平年より高度が低い部分（負偏差域）、白抜き域は平年より高度が高い部分（正偏差域）にそれぞれ対応している。



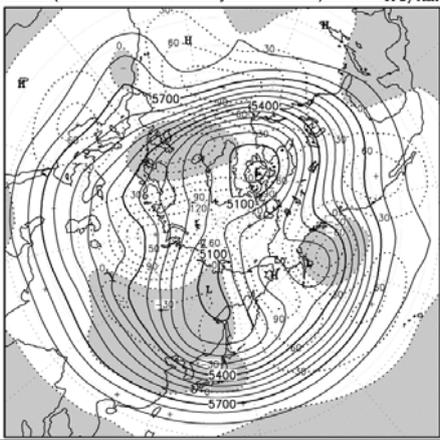
##### 12～2月

北半球は、北極付近の高緯度域では高度が高く、中緯度域では高度の高い領域と低い領域が概ね交互に並んだ。日本付近は中国東北区を中心とする負偏差域の一部で、偏西風は日本付近で南へ蛇行した。このことは、日本付近が強い寒気に覆われることが多かったことに対応している。



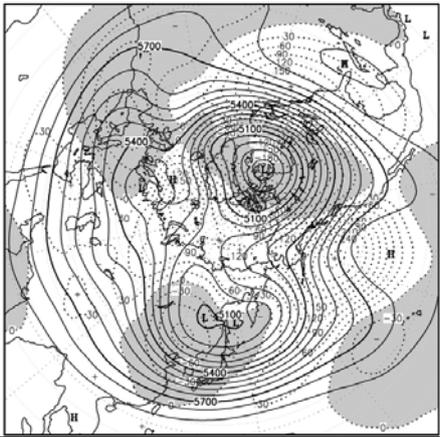
##### 12月

北極付近では高度が高く、極うずは分裂して一部がオホーツク海方面に南下した。また、偏西風は朝鮮半島から日本付近で南に蛇行したため、西日本を中心に全国的に寒気が流れ込み、北・東日本日本海側では気圧の谷の影響を受けやすかった。



##### 1月

北極付近では高度が高く、極うずは分裂して一部が極東方面に南下したため、西日本を中心に全国的に寒気が流れ込みやすかった。



##### 2月

北半球は、北極付近の高緯度域では概ね高度が高く、中緯度域では高度の高い領域と低い領域が交互に並んだ。日本付近は中国東北区を中心とする負偏差域の一部で、偏西風は日本付近で南へ蛇行した。このことは、日本付近が強い寒気に覆われることが多かったことに対応している。

## 5 参考資料

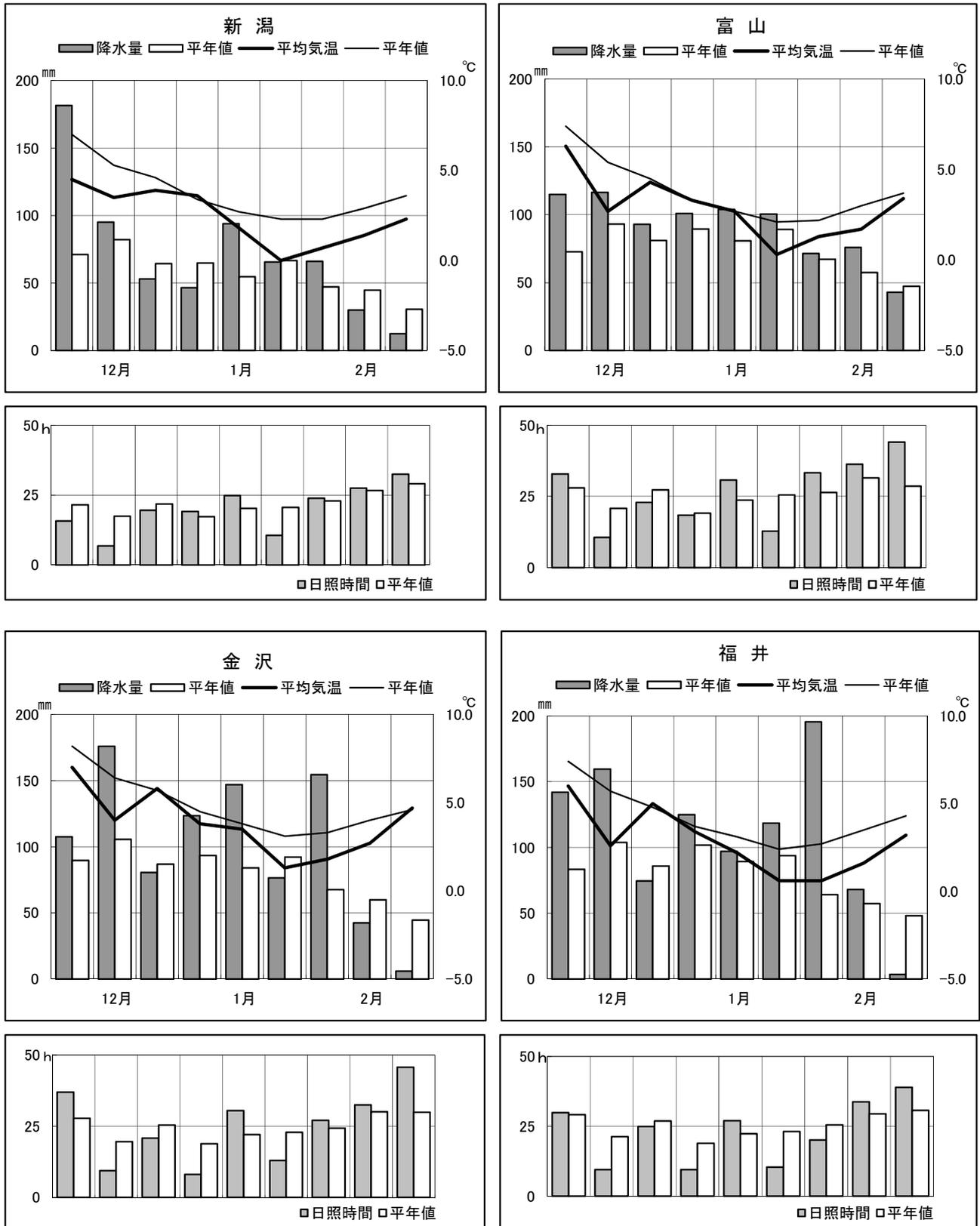


图1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における12～2月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	12月		1月		2月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)
新潟	3.9	-1.7 (-*)	1.7	-1.1 (-)	1.4	-1.5 (-)	2.3	-1.4 (-*)
高田	3.9	-1.4 (-)	1.7	-0.7 (-)	1.5	-0.9 (-)	2.4	-0.9 (-)
相川	5.5	-1.4 (-)	3.1	-0.8 (-)	2.7	-1.1 (-)	3.8	-1.0 (-)
富山	4.4	-1.3 (-)	2.0	-0.7 (-)	2.0	-1.0 (-)	2.8	-0.9 (-)
伏木	4.3	-1.4 (-)	1.8	-0.9 (-)	2.1	-0.9 (-)	2.7	-1.1 (-)
金沢	5.6	-1.1 (-)	2.8	-1.0 (-)	3.0	-0.9 (-)	3.8	-1.0 (-)
輪島	4.4	-1.6 (-*)	2.4	-0.7 (-)	2.2	-0.9 (-)	3.0	-1.0 (-)
福井	4.6	-1.3 (-)	2.0	-1.0 (-)	1.7	-1.7 (-*)	2.8	-1.3 (-)
敦賀	5.7	-1.7 (-)	3.8	-0.7 (-)	3.2	-1.5 (-)	4.2	-1.3 (-)
北陸平均		-1.4 (-)		-0.8 (-)		-1.2 (-)		-1.1 (-)

降水量	12月		1月		2月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)
新潟	329.5	152 (**)	206.0 )	111 (+)	108.5	89 (O)	644.0	123 (+)
高田	359.5	85 (O)	411.5	98 (O)	227.5	87 (O)	998.5	90 (-)
相川	242.0	161 (**)	182.5	143 (**)	103.5	113 (+)	528.0	144 (**)
富山	324.5	131 (+)	305.5	118 (+)	190.5	111 (O)	820.5	121 (+)
伏木	369.0	139 (+)	368.0	138 (+)	183.0	111 (O)	920.0	132 (**)
金沢	364.0	129 (+)	347.0	129 (+)	203.0	118 (+)	914.0	126 (+)
輪島	382.5	151 (**)	299.5	141 (**)	131.0	92 (O)	813.0	133 (**)
福井	376.0	138 (+)	340.5	120 (+)	267.0	157 (**)	983.5	134 (**)
敦賀	384.5	136 (+)	272.0	101 (O)	178.5	107 (O)	835.0	115 (+)
北陸平均		136 (**)		122 (+)		109 (O)		124 (**)

日照時間	12月		1月		2月		3か月合計	
	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)
新潟	42.1	70 (-)	54.5	94 (O)	83.9	107 (O)	180.5	91 (-)
高田	82.5	103 (O)	63.8	98 (O)	108.9	137 (**)	255.2	113 (+)
相川	23.8	44 (-*)	41.0	82 (-)	85.9	126 (+)	150.7	88 (-)
富山	66.4	88 (-)	62.0	91 (-)	113.7	132 (**)	242.1	105 (+)
伏木	68.7	98 (O)	58.9	97 (O)	98.0	121 (+)	225.6	107 (O)
金沢	67.2	93 (O)	51.6	81 (-)	105.3	125 (**)	224.1	102 (O)
輪島	36.0	70 (-)	30.9	71 (-)	72.5	112 (+)	139.4	88 (-)
福井	64.3	84 (-)	46.9	73 (-*)	92.7	109 (+)	203.9	90 (-)
敦賀	63.1	82 (-)	59.2	95 (O)	101.1	133 (**)	223.4	104 (O)
北陸平均		81 (-)		87 (-)		122 (+)		99 (O)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い (少ない), (O) : 平年並, (+) : 高い (多い)

(-\*) : かなり低い (かなり少ない), (\*\*\*) : かなり高い (かなり多い)

注3) 値の横に「や」がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数 (統計に用いた品質が十分な日数) を気象台等に確認して、品質を確かめてください。

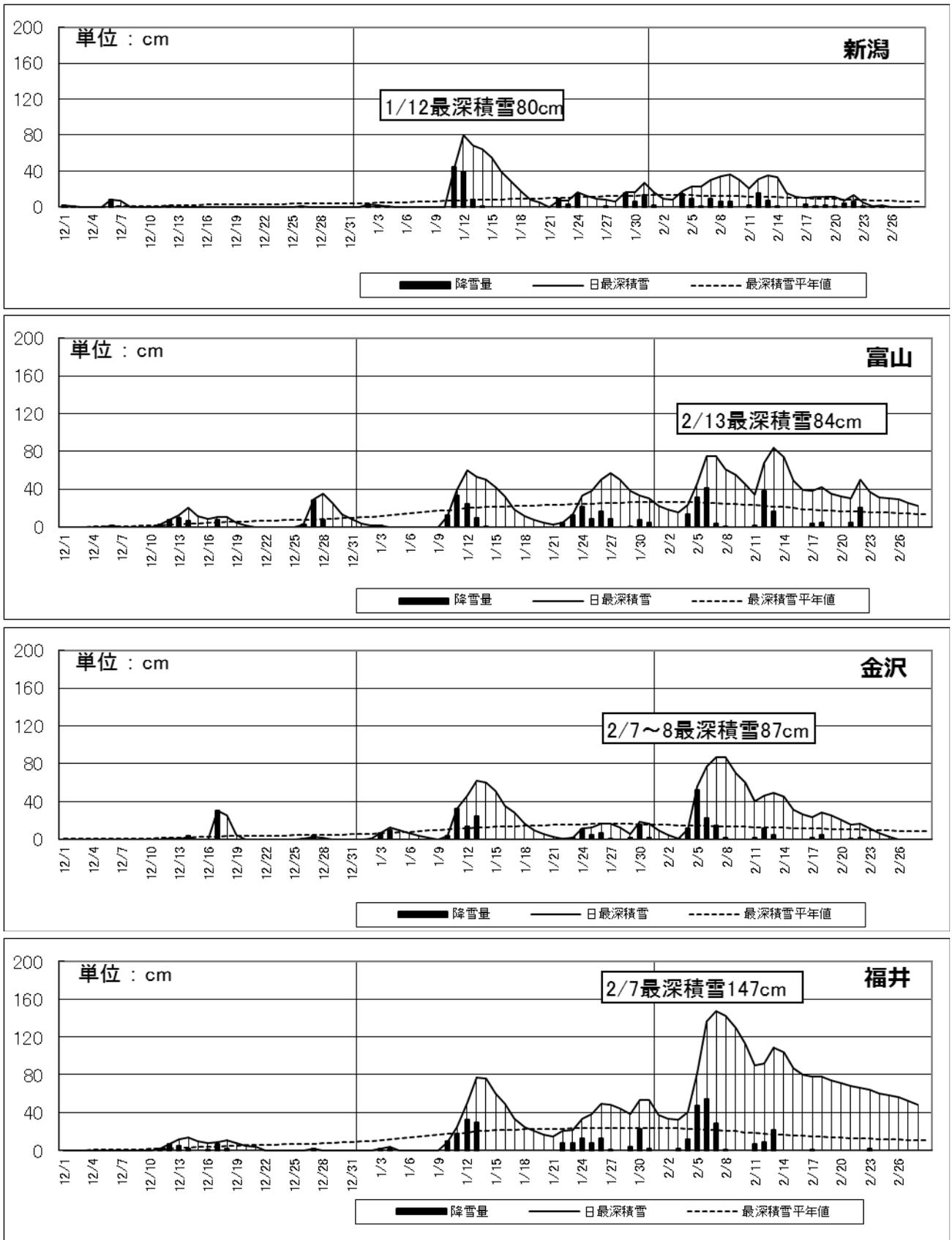


图2 日降雪量・日最深積雪時系列（新潟・富山・金沢・福井）

表2 北陸地方における12～2月の冬日日数・真冬日・雪日数

	冬 日						真冬日		雪 日 数 (日)					
	12月		1月		2月		12～2月		12月		1月		2月	
	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値
新潟	2	3.5	20	14.0	25	14.1	2	1.1	23	13.3	24	22.9	24	20.2
高田	6	6.5	20	18.7	25	19.0	2	1.0	24	-	30	-	22	-
相川	1	2.2	15	9.4	18	10.8	0	0.7	24	-	25	-	24	-
富山	8	4.8	16	15.6	21	16.5	1	1.2	17	9.7	22	19.1	19	16.1
伏木	9	4.7	17	15.2	21	15.7	2	1.3	22	9.2	30	17.9	25	15.3
金沢	0	2.1	12	9.9	15	10.9	0	0.3	13	9.8	23	19.1	17	16.0
輪島	3	4.3	18	14.5	23	16.9	2	0.8	25	-	28	-	25	-
福井	0	3.5	18	12.8	24	14.6	1	0.3	17	9.0	21	18.6	18	15.7
敦賀	0	1.1	12	6.8	14	6.7	0	0.0	22	-	18	-	18	-

※ 高田・相川・輪島・敦賀の雪日数平年値は、特別地域気象観測所化(無人化)により統計がない。

※ 冬日とは、日最低気温が0℃未満の日。真冬日とは、日最高気温が0℃未満の日。

表3 北陸地方における12～2月の降雪量・最深積雪

降雪量	12月		1月		2月		12～2月	
	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級
新潟	13	43(0)	160	176(+)	92	126(+)	265	136(+)
高田	76	83(0)	265	107(+)	215	111(0)	556	104(+)
相川	4	27(0)	76	158(+)	48	109(0)	128	120(+)
富山	77	135(+)	171	108(+)	182	146(+)	430	125(+)
伏木	73	135(+)	213	141(+)	161	150(+)	447	143(+)
金沢	41	111(0)	139	117(+)	133	143(+)	313	124(+)
輪島	55	204(+)	116	138(+)	75	106(0)	246	134(+)
福井	28	67(0)	171	138(+)	184	202(+*)	383	147(+)
敦賀	20	63(0)	89	94(0)	116	166(+)	225	110(+)
北陸平均		96(0)		131(+)		140(+)		127(+)

最深積雪	12月		1月		2月		12～2月	
	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級
新潟	8	80(+)	80	308(+*)	36	129(+)	80	235(+*)
高田	33	83(0)	96	98(+)	129	112(+)	129	107(+)
相川	2	33(0)	26	217(+)	18	138(+)	26	144(+)
富山	35	152(+)	60	118(+)	84	168(+)	84	135(+)
伏木	29	126(+)	87	171(+)	96	229(+*)	96	163(+*)
金沢	30	214(+)	62	159(+)	87	290(+*)	87	202(+)
輪島	20	250(+)	49	196(+*)	32	128(+)	49	153(+)
福井	14	78(+)	77	167(+)	147	377(+*)	147	267(+*)
敦賀	8	57(0)	30	83(0)	57	173(+)	57	114(+)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い(少ない), (0) : 平年並, (+) : 高い(多い)

(-\*) : かなり低い(かなり少ない), (+\*) : かなり高い(かなり多い)

注3) 値の横に「や」がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせませんが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

表4 北陸地方における12～2月の累年極値・順位（3位以内）更新

◎月間日照時間の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 時間	平年比 %	これまでの最小（西暦年） 時間	開始年	平年値 時間
12	3	相川	23.8	44	23.1(1944)	1911	53.7

◎降雪の深さの月合計の順位更新

月	順位	官署	実況値 c m	平年比 %	これまでの最大（西暦年） c m	開始年	平年値 c m
2	3	福井	184	202	268(1968)	1953	91

表5 初冠雪

山岳名	観測気象官署	今季	昨季	平年	これまでの最早
立山	富山地方気象台	10.17	11.2	10.8	1981.9.14
白山	金沢地方気象台	10.26	11.2	10.17	1913.9.1

表6 初霜・初氷・初雪

		初霜			初氷			初雪		
		今季	昨季	平年	今季	昨季	平年	今季	昨季	平年
新潟県	新潟	11.21	11.25	11.25	11.22	11.18	12.1	11.19	12.6	11.24
富山県	富山	11.21	11.18	11.20	11.22	12.12	11.27	11.19	12.10	12.2
石川県	金沢	11.22	12.12	12.1	12.9	12.12	12.9	11.19	12.10	11.29
福井県	福井	11.22	11.30	11.24	11.22	12.12	12.2	11.24	12.14	12.2

6. 天候情報発表状況

なし

（注）この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。